

## 第9回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

### 【委員会の主旨及びこれまでの取り組み経緯】

足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置について、専門家の意見を伺うことを目的に平成26年3月「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立。

これまでに8回の委員会を開催し、足羽川ダム環境モニタリング計画や環境保全措置の計画についてご意見をいただき、ダム建設事業への進捗に合わせて環境保全に取り組んでいます。

### 【第9回環境モニタリング委員会 開催概要】

令和3年12月8日に「ダムギャラリーあすわ」において開催した。

委員会では、水海川導水トンネルの高透水ゾーンの施工方針（案）についてご意見を頂き、減水注入工法を基本に検討することが確認されました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら委員会を開催

### 委員会開催状況



福原委員長 挨拶



委員会開催状況



コロナ対策（検温・消毒）

### 委員名簿（敬称略、五十音、◎委員長）

氏名	担当分野	現職等
◎ 奥村 充司 おくむら みつし	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
久保上 宗次郎 くぼかみ そうじろう	鳥類 生態系	猛禽類研究家
◎ 福原 輝幸 ふくはら てるゆき	水環境	福井大学 名誉教授
松田 隆喜 まつた たかき	魚類	福井農林高等学校 教諭
水口 亜樹 みずぐち あき	植物	福井県立大学 生物資源学部 創造農学科 准教授

---

---

## 第9回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

---

---

### I. 事務局からの報告

- 水海川導水トンネルの高透水ゾーンの施工方針（案）について

### II. 委員会での意見

委員会からの意見は以下のとおりです。

- 水海川導水トンネルの高透水ゾーンの施工方針（案）については、導水トンネルのこれまでの地質条件を踏まえ、工事中の水環境への負荷がかかる期間が想定より長くなる可能性がある中で、環境負荷の期間の短縮が期待できる減水注入工法を基本に検討することが妥当と考える。
- 引き続き、モニタリング調査の実施状況を適宜委員に報告のうえ、委員会の意見を踏まえながら必要に応じて速やかな対応を行い環境保全上の負荷を極力小さくするように努めること。

以 上